

## 九州まるごと“インバウンド立圏”宣言

世界全体の国際観光客数は過去半世紀以上にわたり拡大を続け、2017年には13億2千万人に達しており、さらに2030年には18億人になると予測されている。そのような中、日本を訪れる外国人旅行者数も、アジアからの観光客を中心に近年急激に増加し、とりわけ、九州・山口地域では、全国を大幅に上回る伸びを記録している。

今後、ラグビーワールドカップ2019や女子ハンドボール世界選手権大会、東京2020オリンピック・パラリンピック、世界水泳選手権2021福岡大会など国際スポーツ大会が各地で開催されることに伴い、これまでなじみの薄かった欧米・大洋州を含めた世界各国から、数多くの観戦客や大会関係者等が九州・山口地域を訪れることが見込まれる。

これらの大規模イベントを契機に、ゴールデンルートからの積極的な誘客や九州周遊の仕組みづくりを含め、官民一体となって「観光」を基幹産業へと成長させることができれば、地域に新たな雇用を生み出し、人を育て、更なる発展の基盤を築くことが可能となる。

我々は、伸び続ける世界市場の成長力を取り込み、九州・山口地域が日本を代表する「観光先進地」として世界に認められるブランドとなるため、以下の取組を強力に推進することをここに宣言する。

- 1 これまで九州に対する認知度の低かった欧米・大洋州のニーズを分析し、それを踏まえながら、自然、歴史・文化、気候、食といった各地域の恵まれた観光資源の強みやポテンシャルに磨きをかけ、各々をストーリーでつなぐなど、九州まるごとの魅力として売り込み、世界中の観光客から選ばれる九州を目指す
- 2 欧米・大洋州のインバウンド需要の取込みに向けて、効果的・積極的な情報発信や、すべての旅行者が安全・安心、快適に観光を満喫できるよう、周遊交通の確保やQRコードによる情報提供等の受入環境の充実などに、九州まるごと官民一体となって取り組む

平成30年10月25日

九州地域戦略会議 共同議長 広瀬 勝貞  
共同議長 麻生 泰